



ご 挨拶

会長 伊藤 豪(D41)

緑会会員の皆様には、益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年の緑会の総会で会長に指名されました伊藤 豪です。どうぞ宜しくお願い致します。

日頃は、緑会の事業、運営に一方ならぬご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の経済状況は、東日本大震災からの復興支援・エコカー補助金などの施策により一時持ち直したものの、後半は停滞気味でした。年末の衆議院選挙におきまして、自民党が圧勝、安部内閣の再登板「デフレ脱却・経済再生」いわゆる“アベノミクス”により円安・株高へと誘導されました。大型補正予算も決まり、2%の物価上昇率目標、景気は上向くといわれていますが、TPP問題、消費税増税なども有り、先行き不透明です。

そうした中、緑会では平成24年6月に開催されました総会で承認されました事業は幹事長初め役員の皆様方、学内幹事の諸先生方のご支援により滞りなく進めて参りました。

特に、3月1日(金)に行われました「キャリアサポート交流会・懇親会」は、企業50社90余名(うち緑会OB 50名ほど)、学生222名の参加を頂きました。交流会では、企業紹介のポスターを中心に企業説明者と学生が直に話し合う場を設け、2時間30分の間、会場は、熱気で溢れかえっていました。

交流会後は、会場を移し、企業関係者・教員・緑会OBの「懇親会」を約2時間行い親睦を深めました。関係各位の皆様有難う御座いました。

本年6月29日(土)に開催されます「緑会講演会・総会」も新たな企画を立てて、皆様の情報交換の場・懇親の場になりたいと思っています。奮って御参加くださいますようお願い致します。

結びと致しまして、今後とも緑会に指導、御支援、御協力賜りますようお願い申し上げますと共に皆様方の御健勝・御多幸をお祈り申し上げ挨拶とさせていただきます。



ご 挨拶

幹事長 大橋 聖一(D45)

私は、昭和45年に団塊の世代の先頭で大阪万博の年に社会人となり、愛知万博の年に地元に戻って参りました。その間40年以上経過しており、光陰矢の如しを実感しております。名古屋に不在の期間が長く、従って緑会の活動は、浅く経験は乏しいですが、幹事長に就任し、いろいろお話を伺うと、先輩諸氏及び学内の先生方が緑会を盛り上げるために随分、ご尽力されたと思われ、感謝しております。個人的な考えで

は同窓会活動は若い頃を思い出させ、活力を取り戻す最高の機会なので一部の人が同窓会活動が好きだからやっているとかが向いてるから適任とか言わずに、なるべく多くの人に興味を持って活動できる場にしたいと考えていますので、とりあえず、毎年大学で6月に行われる緑会総会に知り合いの会員に、ご出席いただけるよう勧めさせていただくことをお願いいたします。同時に講演会、参加料なしの宴会もあります。

ご挨拶

生命・物質工学科 教育類長 湯地 昭夫

緑会会員の皆様には、各界でご活躍のことと存じ上げます。2013年度の教育類長を担当することとなった湯地です。皆様には、日頃から本会活動にご理解とご協力を賜っていることと厚くお礼を申し上げます。

昨年度は、政権交代前の停滞感が漂う中、学生の就職状況は概ね「前年と比較して若干改善」とのマスコミの論調でしたが、本学科では昨年同様にほとんどの学生が希望する企業に内定し、この会誌がお手元に届く頃には企業人としての一方を歩み始めていることと思います。これも緑会に所属する卒業生の皆様の活躍とお引き立てによるものと存じます。

2012年度から教員の勤務延長が実施されたために、今春に大学を退職される教員がほとんどなく、これに伴って人事は実質的に凍結されています。このため、例年のように多くの昇格・新規採用をお知らせできないのは残念なことです。その中であって、若手イノベータ養成センターの特任教員（テニユア・トラック助教）であった岩田達也先生が業績を

評価されて前倒しで本学科担当の助教として採用されたことは、大変喜ばしいことでした。今までにも増して、教育・研究に活躍されることと存じます。一方、船橋靖博先生には、大阪大学理学研究科に教授として転出されました。益々のご発展を祈念します。

社会全体が大きく変動する中、名古屋工業大学にもいろいろな変化があります。緑会会員の皆様に関係が深いこととしては、名古屋市立大学と共同で設立した博士後期課程「共同ナノメディシン科学専攻」が本年4月からスタートしました。本学科からは柴田先生、田中先生、山下先生、出羽先生が中心的な役割を果たすべく参画しておられます。また、学部と大学院を一体的に運営する改革（「6年一貫教育」あるいは「複線教育」）なども全国に先駆けて進んでいるようです。会員の皆様におかれましては、引き続き本学科と大学に関心を持ち続けて、暖かく見守っていただくようお願い申し上げます。



ご挨拶

生命・物質工学科 副教育類長(就職担当) 加藤 禎人

緑会の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様には日頃より本学、本学科へ多大なご支援をいただき厚く御礼申し上げます。この度、平成25年度の就職担当としてさらなるご協力をお願いすることになると思いますが、何卒よろしく願い申し上げます。ついこの間まで、緑会の事務局として先輩方に尻をたたかれ、原稿をお願いする立場にあったものが、このような原稿を書く立場になれたのも、先輩方のご指導ご鞭撻のおかげだと改めて厚く御礼申し上げます。

さて、現在の求人状況を報告します。原稿依頼のあった平成25年1月末日現在では昨年度同時期の約1.5倍、原稿締め切りの3月11日現在で昨年度の総求人票数282件とまったく同数の求人をすでにいただいております。例年になくスピードです。これは今までのような業績のある本学先輩方の恩恵に頼った殿様商売的な、待っていれば黙っていても求人者が来るという手法から、こちらから積極的に各企業に働きかけるといって本学のキャリアサポートオフィス(オフィス長は当学科所属の山下啓司教授)の活動成果が出始めたということに加え、ものづくりの原点は人材確保にあるという各企業の積極的な採用体制が重なった結果ではないかと考えております。特にこの状況は、本年度の入試(志願状況)において、就職に強い

工学部が大人気であるという社会情勢にも反映されていると考えます。一般的には益々就職が大変になってきているというマスコミ報道を聞くたび、本学の求人状況を対比すると先輩方のご支援に益々頭が下がる思いです。

平成25年度の就職活動がすでに始まっております。早い学生からは12月早々に求人情報の問い合わせがあり、年々厳しくなる就職活動になっておりますが、これは学生たちの認識が大きくマスコミ報道に左右されている結果だと思っております。自分たちが学んだ化学にもう少し自信を持って、テレビコマーシャルで露出の多い企業に目を向けるだけでなく、一般的には無名でもたくさんの優良企業があることを認識し、腰を落ち着けて就職活動に挑めば、もっと有意義な就職活動になるのではないかと考えています。現在の本学の社会的な評価は先輩たちが築いてきたものだという誇りを持って、面接マニュアルなどに左右されず自分の言葉で自己表現できれば、面接においてなんら臆する必要は無いと思っております。今後たくさんまいり学生に育つような教育を心がけていきたいと考えております。

最後になりましたが、緑会の皆様のご健康とご発展を祈念し、またこれからも学生だけでなく我々教員にも末永くご指導をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

◇◇◇ 東京支部だより ◇◇◇

東京支部長 岡本 利郎 (D44)

天変地異や諸々の事件をみて心配されている方もいるでしょうが、現在は大きな時代の転換期であり新しい良き時代を迎えるための地ならしが行われています。近い将来、世界は「分かち合い」を基軸とした素晴らしい時代に向かって歩み始めることとなります。

その際に、精神的・文化的な意味で世界の手本となるのは大和の国日本です。その一端が、阪神大震災、東日本大震災で顕現し、世界に感動を与えました。先ごろ誕生した安倍政権は「戦後レジームからの脱却」を大きな政治テーマとして掲げていますが、これは、大東亜戦争後に棄損された日本の歴史・伝統・文化を再構築する試みと言えます。

ところで、名古屋工業会東京支部では、安倍政権よりも一

足先に阿部完二支部長D41体制が誕生しました。しかし、東京支部総会の出席者数は、最盛期の6割程度にまで落ち込んでいるため、今年は減少傾向を逆転すべく、土曜日開催に変え、かつ昨年ノーベル賞候補になった春田正毅首都大学東京名誉教授D45の講演会も開催するという新機軸を打ち出しました。どうか盛会となるように、皆様のご協力をお願い致します。

緑会は、各単科会の中ではトップの出席者数ですが、阿部支部長を応援するため、更なる増員を図りたいと思います。具体的な提案としては、講演会及び総会が夕方6時頃には終わりますので、その後で、各年次の同窓会を行って頂ければと考えています。

◇◇◇ 近畿支部だより ◇◇◇

近畿支部長 末利 鏡意 (D41)

緑会の皆様方には、ご清栄の段お喜び申し上げます。

緑会近畿支部は、大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県をカバーしています。会員数は2000名を超えると推定していますが、支部名簿は650名となっています。今後ともに、皆様方との交流の場を設定いたしますので、ふるってご参加をお願いします。

以下に近畿支部の行事を紹介いたします。

① 部総会(1年おきに実施)

2013年7月6日(土) 11:00~15:00

大阪弥生会館(06-6373-1841) ヨドバシカメラ北

大学より、山下教授をお招きして大学の現状と講演をいただきます。

連絡先 林雅仁(DH19) 携帯: 080-3628-5513

メール: masacyd@yahoo.co.jp

② ゴルフコンペ

年2回(春、秋)開催しています。中部からも参加があります。

③ ホームページの開設

名古屋工業会の大阪支部のホームページを、充実しておりますので、一度アクセスして内容をご確認下さい。

④ つれづれ草の会

近畿支部の活動の一環として、「何でもやって見よう」の精神で各種アミューズメント行事を実施しています。

新任教員紹介

就任挨拶

岩田 達也

緑会の皆さま、初めまして。2013年4月1日付で生命・物質工学科の助教として着任いたしました岩田達也と申します。私は2009年10月より本学の若手研究イノベータ養成センターにテニユア・トラック助教(特任教員)として所属し、それ以前も博士研究員として本学で研究を続けておりました。

私はこれまでに生物と光の関わりに興味を持ち、生物がもつ光センサータンパク質のうちフラビン(ビタミンB2誘導体)を結合したものを対象に、その光反応機構解明に向けた

研究を行ってきました。最近では基礎研究だけでなく、新規機能性蛍光タンパク質の開発という実用化を念頭に置いた研究も行っております。

この度テニユア教員となる訳ですが、教員の心構えとして私が高校の時の教頭先生の言葉が印象に残っております。それは孟子の「君子三楽」の「天下の英才を得て、之を教育するは、三楽なり」です。私は君子と呼べるほどの者ではありませんが、学生さんの優れたところを見つけて伸ばせるように研究の現場で指導していきたいと心意気を新たにしているところです。

最後になりましたが、本会の皆さまにおかれましては何卒お願い申し上げます。

教員の異動(2012.6以降) 転任 2012年10月1日 船橋靖博 准教授(大阪大学 教授)

平成24年度卒業生就職先一覧

●博士前期課程●

アイシン・エイ・ダブリュ(株) 愛知県都市職員共済組合
愛知時計電機(株) アスモ(株) イビデン(株) (株)クラレ
小松製作所(株) J Xエンジニアリング(株) J F Eスチール(株)
(株)神鋼環境ソリューション 新神戸電機(株) 神東塗料(株)
スズカファイン(株) 星光PMC(株) 積水化学工業(株)
高砂電気工業(株) 中部電力(株) 東亜合成(株)
東海理化電機製作所(株) 東邦ガス(株) 東レエンジニアリング(株)
トヨタ自動車(株) (株)豊田自動織機 トヨタ車体(株)
トヨタテクニカルディベロップメント(株) トヨタ紡織(株)
ナトコ(株) 日油(株) 日清食品(株) 日本圧着端子製造(株)
日本化薬(株) (株)日本触媒 (株)パロマ 菱電商事(株)
日立化成工業(株) (株)福井村田製作所 富士機械(株)
(株)富士通システムズ・ウエスト 双葉産業(株)

ブラザー工業(株) ホーユー(株) 三菱樹脂(株) 明電舎(株)
リンナイ(株)

●第一部●

アイシン・エイ・ダブリュ(株) 一丸ファルコス(株)
イトモル(株) エンドリースジャパン(株) (株)オービック
小野薬品工業(株) (株)学情 (株)三五 (株)J C U 太平工業(株)
竹本油脂(株) 多摩川精機(株) T I S(株) 名古屋市役所
ニチアス(株) (株)ミダック (株)ヨシタケ

●第二部●

東栄製紙工業(株) (株)東海交通事業 浜松ホトニクス(株)
ホーユー(株) 宮崎精鋼(株)

平成25年度 緑会総会のご案内

緑会総会・講演会を下記のように開催いたします。
同窓生をお誘い合わせの上、ご参加ください。
今回も多くの方にご出席いただけるよう、懇親会会費は無料といたします。
準備の都合上、ご出席のご連絡は、6月17日(月)までお願い致します。

記

日 時 平成25年6月29日(土)14時より
場 所 名古屋工業大学2号館1階0211(旧F1)教室
○総 会
○大学近況報告
○学術講演
題目「ケミカルに価値をのせて高吸水性樹脂の開発と海外事業を例にして」
講師 小林 隆俊 氏 (G49) 元花王(株)
○懇親会 校友会館 17:00 - 18:30
連絡先 学内幹事 midori@ach.nitech.ac.jp

名工大、緑会、工業会ホームページの紹介

最新の情報をホームページに掲載しております。

名工大HP : <http://www.nitech.ac.jp/>
緑会HP : <http://www.ach.nitech.ac.jp/~midori/>
名古屋工業会HP : <http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

住所変更などの連絡は以下をお願いします。

e-mail : midori@ach.nitech.ac.jp
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学同窓会「緑会」